



年末の風物詩のひとつに「現代用語の基礎知識 選 ユーキャン新語・流行語大賞」があります。この賞は、1年の間に発生したさまざまな「ことば」のなかで、軽妙に世相を衝いた表現とニュアンスをもって、広く大衆の目・口・耳をにぎわせた新語・流行語を選出するものです。

今年の年間大賞は「3密」にきましたね。今年はノミネートの多くに新型コロナウイルス関連が入り、世相の反映が窺えました。

また、『三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2020」』の大賞には「びえん」が選ばれています。

来年はどんな言葉が選ばれるのでしょうか。明るい1年になるといいですね。

DUCTILE TIMES編集部

### 久保田権四郎翁の特別展示を開催中



2020年11月11日(水)～2021年2月18日(木)まで大阪企業家ミュージアムで弊社創業者の久保田権四郎翁の生い立ちから創業・事業拡大の軌跡をたどる特別展示が開催されております。

### 新製品のご紹介

2021年度販売開始予定

## GX形メタルシート仕切弁

(対象口径：呼び径75～250)



今回は来年度より販売開始予定のGX形メタルシート仕切弁についてご紹介いたします。

耐震型ダクタイル鉄管に適用されるバルブは、耐震型ソフトシール仕切弁が一般的に多く使用されています。

管路の耐震化率向上にあわせて、耐震型ソフトシール仕切弁が年々普及しています。しかし、排泥用の管路に使用するバルブ等、用途によってはメタルシート仕切弁を使用したいとの要望もあり、本製品の開発に至りました。販売等の詳細につきましては、弊社上下水道営業部へお問い合わせ下さい。

#### 特長①

耐震継手一体化構造によりフランジレス化を図り、管路トータルの耐震化に貢献

#### 特長②

配管の一部を構成する弁箱外面にC-protectを行うことにより、GX形の直管、異形管と同等の長寿命化を実現

#### 特長③

剛構造の弁箱と柔構造の弁体の組み合わせにより、地震動等の外力負荷時にもシート部の止水性を維持

### ～ IoTを取り入れた水道工事 ～

## 「地中のインフラ」に関心を高める効果

〈ご寄稿〉会津若松市上下水道事業管理者 高橋智之様

ある雑誌の記事に「科学データが示した最強の飲料は、『水道水』だった!」とあり、その内容は、「水分を取ると心筋梗塞や脳梗塞の発症リスクを下げる。そして免疫機能を正常化させて感染症の回復にも役立つ!」「水道水は、1日2リットル、100年飲み続けても『人の健康』に影響を生じないとする51項目の水質基準(水道法)をクリアしている。」と…。

まさに水道水は、「衛生や安全性」という面だけでなく、「飲用効果・効能」という面における大切さをアピールしなければなりません。

こういった面からも、水道の持続性は水道事業体にとっての責務である以上、

技術者不足とか…を嘆くことなく、一例として、本市では管工事組合との連携により、工事の品質管理上、特に重視される継手施工管理において、「施工情報システム」を試験的に導入し、工事の「見える化」を図りたいと考えています。

また、このシステムを活用しての展望には、技術管理の向上による「小規模管路DB(デザインビルド)」の導入につながっていくことも期待しており、次世代のデジタル世代と言われる方々が「まちの固定費」とも言うべき「地中のインフラ」技術に興味・関心を持って、技術者として“縁の下の力持ち”になっていただくことを願うものです。



スマホ画面 → 拡大図

項目	4	5	6	7
管種	03:曲管	01:直管	01:直管	01:直管
管径	100	100	100	100
平均値	100	100	100	100
標準偏差	13	14	15	

〈会津若松市での施工例〉